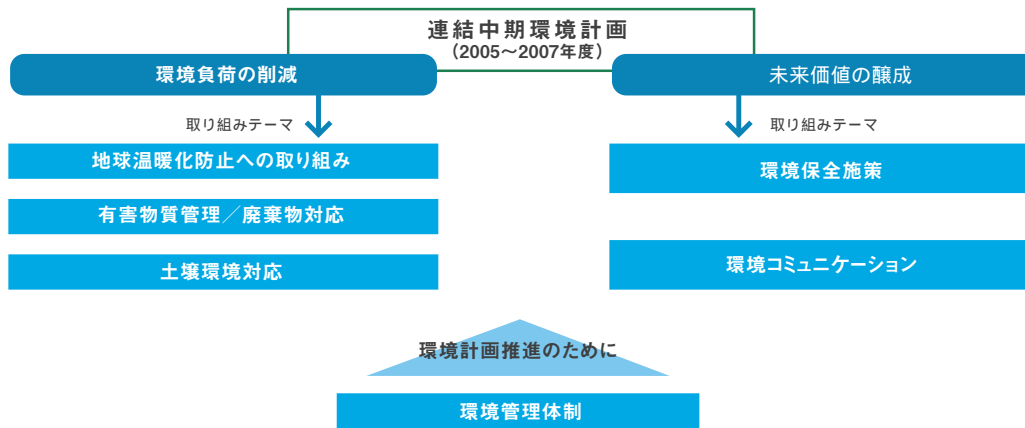


# 環境活動の全体像

<http://www.cosmo-oil.co.jp/sustainable/07/env/index.html>

コスモ石油グループは、連結中期環境計画で、「環境負荷削減」と、地球規模の持続可能な社会実現に向けた「未来価値醸成」の2つの切り口から環境活動に取り組んでいます。

## 環境の取り組み「連結中期環境計画」



テーマ	主な目標	2006年度の主な実績 / 評価	今後の課題	
環境負荷削減	地球温暖化防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コスモ石油：製油所の省エネルギーと京都メカニズムの活用による、京都議定書第一約束期間(2008-2012)のエネルギー消費原単位 1990年度比▲15%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コスモ石油：製油所省エネルギーにて ▲11.6%達成</li> <li>●改正省エネ法への対応</li> <li>●京都メカニズム 排出権調達契約締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●規制強化に対応すべく、省エネルギー投資 / 排出権追加取得の検討</li> </ul>
	有害物質管理 / 廃棄物対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コスモ石油：産業廃棄物最終処分率期間平均1%未済</li> <li>●環境管理(環境負荷物質 / 化学物質 / 産業廃棄物の管理)徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コスモ石油：最終処分率0.7%達成*1</li> <li>●関係会社の一部が目標未達</li> <li>●コスモ石油および現場サイトを持つ関係会社の環境管理は良好</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●最終処分率のさらなる削減</li> <li>●関係会社の目標基準の見直しと達成のフォロー</li> <li>●環境査察結果に基づき、高レベルの環境管理を実施</li> </ul>
	土壌環境対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サイト別(製油所 / 油槽所 / SS / 遊休地)予防策と事後対応策によるリスク低減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●異常検出時の社内体制整備完了</li> <li>●SS土壌調査の実施</li> <li>●製油所にて含油排水の点検補修を実施</li> <li>●廃止済み油槽所の土壌調査実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土壌調査の継続</li> <li>●製油所土壌調査 / 対策の継続</li> <li>●廃止済み油槽所の土壌調査継続</li> <li>●関係会社の事業用地についても同様の対応を実施していく</li> </ul>
未来価値醸成	環境保全施策	(オフィスクリーン) ●コスモ石油(2003年度比2007年度目標)：コピー用紙▲16%、社用車燃料▲18%、事務所電力▲10% ●関係会社(2004年度比2007年度目標)：コピー用紙▲14%、社用車燃料▲12%、事務所電力▲11%	●コスモ石油：コピー用紙▲10%、社用車燃料▲15%、事務所電力▲11% ●関係会社：*2 コピー用紙+2%、社用車燃料▲9%、事務所電力▲3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チーム・マイナス6%活動を強化し、オフィスクリーン目標の達成と環境意識の向上</li> </ul>
		(グリーン購入) ●物品のグリーン購入およびサプライヤーの環境対応ボトムアップ	グリーン購入基準にそって継続した取り組みを展開、同時にサプライヤーの選定作業を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グリーン購入品の対象範囲の拡大</li> </ul>
		(社会 / 環境貢献活動) ●地域協力のさらなる強化(製油所 / SS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●四日市製油所で環境教育を実施</li> <li>●「人と社会と地球にやさしいSS」の標準設計の決定と試験導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SSや製油所などでの社会 / 環境貢献の強化を図る</li> </ul>
	環境コミュニケーション ●社会全体および各ステークホルダーを対象とした情報発信と双方向コミュニケーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●CO<sub>2</sub>吸収実験装置を活用したエコプロダクツ展、アパグビでの展示会出展</li> <li>●コスモ石油エコカード基金を通じたエコツアーおよび体験プログラムの提供</li> <li>●環境広告(CM・ラジオ)などの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参加型プログラム(エコツアー等)の強化</li> <li>●ステークホルダーとの意見交換の場の拡大</li> </ul>	

表中の ▲は削減を表します。 2006年度実績についての評価： ●は達成 ▲は一部未達成 ×は未達成を表します。

\*1 産業廃棄物最終処分率は、4製油所-四日市露発電所(IPP)-油槽所-中央研究所を対象とします。 \*2 関係会社の2006年度実績には、関係会社の一部が追加され、その2004年度の基準年度実績には一部推計値を含んでいます。